



Title	平成二十九年度新収資料紹介
Author(s)	懐徳堂研究センター
Citation	懐徳堂研究. 2018, 9, p. 141-144
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/71318
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成二十九年度新収資料紹介

懐徳堂研究センター

平成二十九年度、大阪大学大学院文学研究科は、懐徳堂研究センターが窓口となり、宮武敏子様（高松藩士の子孫）より、懐徳堂関係資料二点をご寄贈頂いた。

ここに宮武様のご厚意に対しお礼を申し上げるとともに、寄贈資料に関して報告と紹介とを行なう。

一、「答宮武生書」

（寸法（cm） 本紙…一五八・四×一八・六 本体…四四〇×二二・六）

安永六年（一七七七）、中井竹山より「宮武生」へ宛てた書簡（無鬼論に関連する質問への回答）を卷子に仕立てたもの。筆蹟・内容等より竹山筆と思われる。

同内容の文章が、中井竹山の文集『竹山先生國字牘續編』に、「答宮武正蔵」の題名で収録されており、占部

日出明『高松藩藩士録』（私家版、平成二二年）に、「宮武学翁正蔵 1 祖豊田郡大野原 高松外磨屋町住頼恭公医師 御ヒ 漢学者として有名」（二六六頁）とあることなどからも、「宮武生」とは宮武家の過去帳に名を確認できる「宮武正蔵」であると考えられる。

竹山直筆であること、文集収録作品の実際の使用状況が確認できたことなど、資料的価値が高い。

なお、『竹山先生國字牘續編』（大阪大学附属図書館懐徳堂文庫蔵）は、国文学研究資料館のホームページ http://basel.nijl.ac.jp/~tkoten/owners/syuusyuu_list/list_osak_kaitokudou.html（国文学研究資料館トップ〈電子資料館〉館蔵和古書目録データベース〈マイクログレデジタル一覧〉〈デジタル公開所蔵者一覧〉大阪大学附属図書館 懐徳堂文庫（五二九一五三五コマ）にて公開されている（平成二九年一〇月三十一日確認）。

二、「萬年先生遺筆」

〔寸法（cm）本紙…一二五・三×一三・二 本体…一八六・二×三三・四〕

三宅石庵の書を軸装したもの。箱書き「萬年先生遺筆／古樹含風常帶雨／寒岩四月始知春／真幅／【落款】／一軸」。唐・方干の七言律詩「題龍泉寺絶頂」（『全唐詩』卷六五二所収）の頷聯を書してある。

石庵の書は現存するものが少なく、また書に署名落款等を欠くことから石庵の書と確認はできないが、時代に關しては問題ないと考えられる。

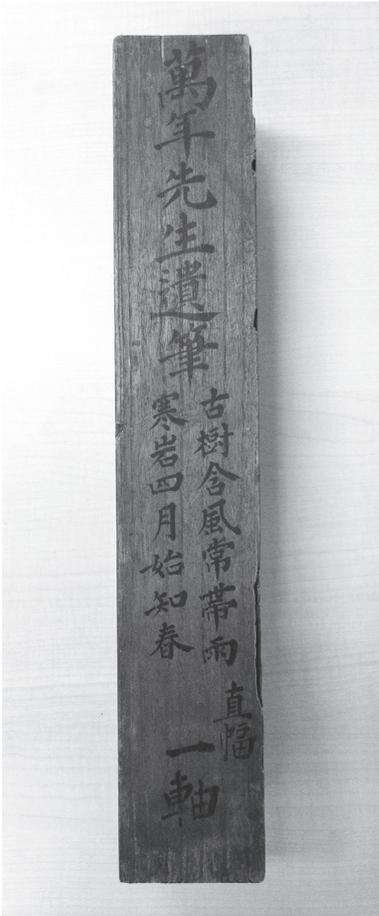
〔参考〕 題龍泉寺絶頂 方干

未明先見海底日 良久遠鷄方報晨

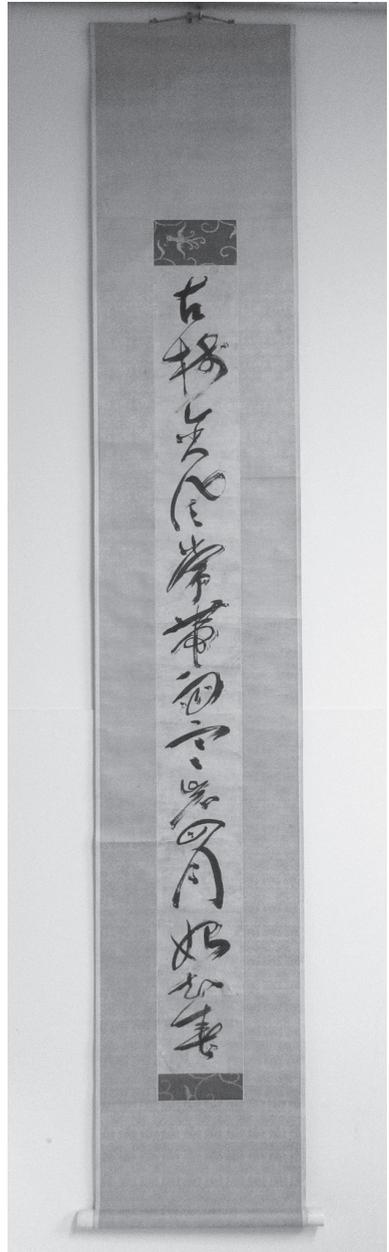
古樹合風長帶雨 寒巖四月始知春

中天氣爽星河近 下界時豐雷雨勻

前後登臨思無盡 年年改換去【一作往】來人



函



萬年先生遺筆